歯科口腔外科

1. スタッフ (平成26年4月1日現在)			日本口腔外科学会認定専修医		美和子
科長(教授)	神部 芳則			鹿志村	
副科長(講師)	野口 忠秀			小澤	道子
	土屋 欣之			杉山	知子
病棟医長(病院助教)	早坂 純一			林	宏美
	小佐野仁志			土肥	昭博
医 員(助 教)	伊藤 弘人		日本がん治療認定医機構		4-
医 員(病院助教)	宮城 徳人		がん治療認定医(歯科口腔外科)	野口	忠秀
	岡田 成生			伊藤	弘人
シニアレジデント	18名			土屋	欣之
非常勤医師	10名			早坂	純一
0 シ底彩の特徴			日本がん治療認定医機構	사 - 숙7	-1,1- 1111
2. 診療科の特徴			暫定教育医(歯科口腔外科)	神部	芳則
患者は他の医療機関からの紹介患者を中心とし、口				-	野仁志
腔癌を主とする悪性腫瘍、良性腫瘍、顎顔面領域の外				野口	忠秀
傷、炎症、奇形、嚢胞、口腔粘膜疾患、顎変形症、顎			日本口際時度兴众斯宁托道医	伊藤	弘人
関節症、口腔インプラント治療などの外科的治療を中心			日本口腔腫瘍学会暫定指導医 日本口腔診断学会指導医	野口神部	忠秀 芳則
に行っている。特に、口腔癌の顎機能的再建手術、口腔 粘膜疾患と全身疾患、唇顎口蓋裂の顎発育誘導・咬合改			口平口胜的例子云钼等区	大橋	一之
				野口	忠秀
善、摂食嚥下機能の改善によるNSTへの貢献、緩和ケア				内藤	心汚
での口腔疾患とケア、ビスフォスフォネート製剤による 顎骨骨髄炎を注目して診療している。また全身疾患を有			日本口腔診断学会認定医	神部	芳則
する患者や障害者の歯科口腔外科処置・ケアを行ってい			1 年 1 庄 6 例 于 云 恥 た 区	大橋	一之
る。他科で加療中の患者の全身疾患と関連する口腔病変				野口	忠秀
の治療に取り組むとともに、免疫不全の状態にある患者				内藤	浩美
や、心弁膜疾患(弁置		日本歯科放射線学会指導医	神部	芳則	
病巣感染の原因除去や		日本歯科放射線学会専門医	神部	芳則	
方 水 心 木 り 水 口 小 ム ()		5 0	日本歯科保存学会指導医		野仁志
• 認定施設			日本歯科保存学会認定医	小佐野仁志	
日本口腔外科学会指定研修機関、日本顎関節学会認定			日本障害者歯科学会認定医	上野	泰宏
研修機関、日本口腔診断学会認定研修機関			日本有病者歯科医療学会指導医		芳則
7112 DAD4 P 1 1 1321	0 BT 3 2 BOVE 0/110 10/10	,		宮城	徳人
• 指導医 • 専門医			日本有病者歯科医療学会認定医	神部	芳則
日本口腔外科学会認定	定指導医	神部 芳則		宮城	徳人
		小佐野仁志	日本小児口腔外科学会指導医	早坂	純一
		野口 忠秀	日本小児口腔外科学会認定医	宮城	徳人
		伊藤 弘人		早坂	純一
日本口腔外科学会認定	定専門医	神部 芳則	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士		弘人
		小佐野仁志		上野	泰宏
		野口 忠秀	抗菌化学療法認定歯科医師	早坂	純一
		伊藤 弘人		上野	泰宏
		松本 浩一		小澤	道子
		早坂 純一		林	宏美

土屋 欣之

日本矯正歯科学会指導医

日本矯正歯科学会認定医

笹栗 健一

笹栗 健一

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1)新患患者数・再来患者数・紹介率

新患患者数 5,026人 再来患者数 32,956人

紹介率 医療法62.5%、健康保険法57.4%

2) 入院患者数:367例

入院患者数 (病名別)

口腔癌	138例
埋伏歯	35例
歯性感染症	51例
囊胞	32例
顎顔面骨骨折	23例
障害者歯科治療	15例
口腔良性腫瘍	19例
顎裂	20例
下顎前突症	3例
その他	31例

3) 手術症例術式別件数:236例

1. 悪性腫瘍切除術 71例

腫瘍切除39例再建併用(遊離組織移植術)23例頸部郭清術9例

2. 囊胞摘出術 33例

(歯根囊胞、顎骨囊胞、術後性上顎囊胞)

3. 埋伏歯抜歯術 35例 4. 顎裂部腸骨移植術 18例 5. う蝕治療 15例 6. 良性腫瘍切除術 15例

7. 顎骨骨折観血的整復固定術 12例
8. 抜釘 7例
9. 顎下腺摘出術 4例
10. 下顎矢状分割術 3例

11. 口唇形成術 3 例 12. インプラント埋入術 1 例 13. 口蓋形成術 1 例

14. その他 18例

外来手術件数 947件

4) 化学療法症例数:11症例

5) 放射線療法症例数:34症例

6) 悪性腫瘍の治療成績

· Stage别 5 年全生存率

 Stage I
 91.9%

 Stage II
 84.7%

 Stage III
 67.3%

StageIV 68.8% 全対象 78.7%

7) 死亡症例・死因・剖検数・解剖率

a. 死因

腫瘍死 3人

b. 剖検数·率 0 (0%)

8) 主な処置・検査

口腔機能検査…VF検査、VE検査、咬合力検査(デンタルプレスケール)

口腔内超音波検査、PET検査 外科的顎矯正装置…REDシステム

インプラントのための特殊なCT画像処理…SIM/PLANT

9) カンファランス

病棟カンファランス 毎日 $7:00\sim8:00$ 抄読会、医局会 火 $18:00\sim20:00$ 教授回診 水 $8:30\sim10:30$

口腔機能カンファランアス

水18:00~19:00 (月1回)

症例検討会 $+18:00\sim20:00$ 研究連絡会 $+18:00\sim20:00$ 腫瘍カンファランス $+18:00\sim20:00$

放射線カンファランス 木17:30~18:00 (隔週)

4. その他・来年度の目標

1) 専門外来の充実

腫瘍・摂食嚥下・粘膜疾患・顎関節症・インプラント・矯正・口唇口蓋裂・顎補綴・顎変形症

2) 病診連携の充実

3) 高度先進医療の拡充